

TGUIS DLDP

Tokyo Gakugei University
International Secondary School



Dual Language
Diploma Programme



東京学芸大学附属国際中等教育学校

国公立学校初 MYP・DP の IB 一貫教育開始！

本校は、日本の国公立学校初の国際バカロレア・ワールドスクール (IB*認定校) として、1年生から4年生までの全生徒を対象に中等教育プログラム (MYP) を実施してきました。そしてこのたび2015年3月31日付で、5年生と6年生を対象としたディプロマプログラム (DP*) の認定校となりました。

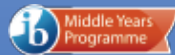
また、これまでDPは英語・フランス語・スペイン語での実施が原則でしたが、2016年11月から科目によっては日本語で筆記試験を受けることが可能になり、内部評価の課題や授業も日本語で行うことができるようになりました。

そのため、本校は一部の生徒を対象に2016年4月から「日本語と英語によるデュアルランゲージ・ディプロマプログラム (DLDP)」を始めます。これにより本校は、MYPとDPのIB一貫教育を実践する初の国公立学校となります。

本校における IB の一貫教育の特徴

本校での4年間のMYPは、プレゼンテーション・ディスカッション・レポート課題などを通じた概念理解と探究活動を中心とした学習を特徴としています。生徒は、この4年間の学習経験をもとにDPにおけるより高度な学習をスムーズに始め、深めていくことができます。

また、計6年間のIB一貫教育を受けることにより、国際的な視野と高い専門性を有するグローバル人材へと成長できます。



編入生も DP へ

DP生になることができるのは1年4月から本校に在籍する生徒ではありません。4年9月までの編入生はもちろん、5年4月編入生までDPを選択するかどうかを検討できるようになっています。

日本語と英語で

本校は「日本語と英語によるデュアルランゲージ・ディプロマプログラム (DLDP)」の認定校です。生徒は日本語で学ぶ科目もあれば、英語で学ぶ科目もあります。英語だけ・日本語だけではなく、二つの言語を使って教科内容を深く学習することができます。二つの言語の運用能力をバランス良く高めることにより、国際社会で活躍するスキルを身に付けます。

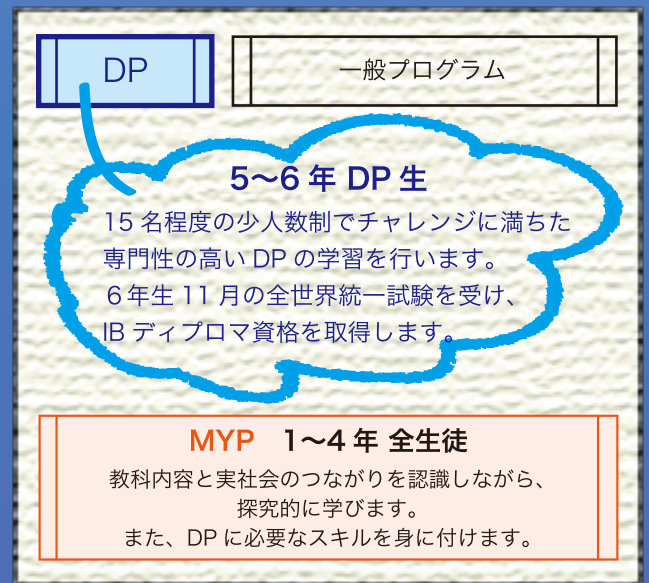


海外大学

国内大学

さらなる学びへ

海外進学のチャンスが広がるだけでなく、国内大学でもDP生受け入れの検討が始まっています。



*国際バカロレア (IB)

国際バカロレア (International Baccalaureate) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

*ディプロマプログラム (DP)

ディプロマプログラム (Diploma Programme) は、国際バカロレア機構 (本部ジュネーブ) が提供する16歳~19歳までを対象とした国際的な教育プログラムです。世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせることを目的に教育を行います。生徒は約2年間かけてチャレンジに満ちた六つの科目及び「コア」を学びます。6科目のうち3科目は標準レベル、残りの3科目は上級レベルで学びます。二つのレベルで、授業時間数や学習の深度が異なります。また、DPの「コア」とは「知の理論 (TOK)」「課題論文 (EE)」「創造性・活動・奉仕 (CAS)」で、DPの核となる学びです。

約2年間のDPの学習ののち、生徒は全世界統一の筆記試験を受けることになります。外部評価の筆記試験と内部評価の課題を合わせて各教科7点満点、「コア」3点満点でIBの正規評価がつきます。45点満点中24点以上を得点し、「コア」の条件を満たすことによりIBディプロマ資格取得になります。

DP の 6 教科 7 科目と「コア」(TOK・EE・CAS)

教科【科目】 / レベル (HL: Higher level, SL: Standard level) / 言語 / 2 年間の授業時間数

言語と文学【日本語 A: 文学】

HL / 日本語 / 240 時間

日本語 A 文学では、日本語のテキスト特に文学作品の読解や言語を使った創造的活動を通じて、言語がいかに思考方法やもののあり方を維持しているか、あるいは言語がいかに思考方法やもののあり方に挑戦しているかについての理解を深めます。HL の規定に従って古典から現代文学までの広い時代を網羅し、翻訳文学・戯曲・映画などを通して異文化や関連した文芸分野への理解を深めます。

Studies in Language and literature 【English A: Language and literature】*

HL / 英語 / 240 時間

This exciting and demanding course aims to 1) promote students' interest in and appreciation of English and English literature and 2) develop your powers of critical analysis and creative expression. By studying an enormous variety of "texts," both literary and non-literary, students will discover the fundamental connections between language, context and meaning.

Language acquisition 【English B】*

HL / 英語 / 240 時間

This course is designed to help students become a skilled English communicator in authentic situations. Students will study various types of texts ranging from news articles to blog posts. In addition to these texts, students will also read two works of literature. Intriguing issues of English-speaking cultures on topics from global issues to social relationships will be explored.

個人と社会【歴史】

HL / 日本語 / 240 時間

DP History では、世界史を古代から現代まで広く取り上げるのではなく、いくつかのテーマを選んで深く探究していくことになります。また、四つの地域世界から主な学習対象を一つ選びます。本校では、20 世紀の世界史に関わるテーマ取り上げ、ヨーロッパ世界を中心に学習する予定です。様々な史資料を分析し、調査し、議論して、歴史的思考力を高めていきます。

理科【化学】

SL / 日本語 / 150 時間

化学の原理は、私たちが生活する物理的環境や生物システムの理解を支える土台となります。DP Chemistry では現実事象の理解や解決のために、実験・研究スキルの習得と化学の基本原則の学習が一体となった学習をします。学習過程においては、実験デザインに関わる全ての活動を個人で行います。科学的な知識、実験観察の技能、思考力や判断力、コミュニケーション力、ICT 活用能力等、多様な能力やスキルをバランスよく習得していきます。

コア TOK (Theory of knowledge 知の理論)

日本語 / 100 時間

TOK では知識がどのように構築されているのかについて、様々な視点から考えを深めます。多様な文化的ものの見方に関心を持ち、個人やコミュニティが持つ知識の前提をさぐります。また、プレゼンテーションやエッセイの課題を通して、既に持っている知識を正当化する根拠を分析したり、現代の実社会に見られる諸課題を探究したりするスキルを身に付けます。

Mathematics【Mathematics SL】

SL / 英語 / 150 時間

This course focuses on introducing important mathematical concepts through the development of mathematical techniques. Students will study algebra, functions and equations, circular functions and trigonometry, vectors, statistics and probability, and calculus. Furthermore, students will be required to apply the mathematical knowledge acquired to solve realistic problems. So, let's enjoy real-world mathematics!

コア EE (Extended essay 課題論文)

日本語または英語 (どの科目で取り組むかによります)

課題論文は自律的に授業外で取り組む、必須の論文です。スーパーバイザーの助言をもとに生徒は DP で学習した科目の一つを取り上げ、研究課題を選び、論文を作成します。課題論文の執筆を通して生徒は取り組んだ学習領域をより深く理解することができます。またこれまで学んできたスキルや知識を活用する、またとない機会となるはずです。

The arts【Visual arts】

SL / 英語 / 150 時間

In DP Visual Arts students will experiment with a wide variety of genres and styles while exploring our own creative and cultural backgrounds. We plan to focus on finding our own personal identity as well as understanding how the visual arts can affect society and the environment around us. Students will develop the ability to express their ideas for lifelong use.

コア CAS (Creativity, action, and service 創造性・活動・奉仕)

日本語

創造的な活動、身体的な活動、奉仕的な活動について、CAS アドバイザーの先生と相談しながら、自身で計画・行動・観察・振り返りを行い、自己の成長や他者との関わりについて深く考えていきます。授業外の時間を使い、2 年間で 150 時間程度を目安にバランスよく取り組みます。本校では、CAS 活動から得た衝動を発信するリフレクションの機会を重視します。

DP 以外の科目

教科【科目】 …言語 / 学年 : 週当たりの授業単位数 (コマ数)

保健体育【体育】 …日本語 / 5 年 : 2 単位, 6 年 : 3 単位

保健体育【保健】 …日本語 / 5 年 : 1 単位

家庭【家庭基礎】 …日本語 / 5 年 : 2 単位

*English A と English B はどちらか一つを選びます。他の DP の 5 科目と「コア」、DP 以外の 2 教科 3 科目は DP 生全員が取り組みます。

～ Q & A ～

<学校生活について>

1. HR クラスは一般プログラム生と別になりますか。

— 完全に分かれることはありません。一般プログラム4クラスのうち1クラスに DP 生全員が一般プログラム生とともに所属する予定です。DP の授業の時のみ別々に学習します。

2. 生活時程は一般プログラムの生徒と異なりますか。

— 一日の生活時程はほぼ変わりません。

3. 学校行事や生徒会活動は一般プログラム生と同様に行えますか。

— 定期テストや国際教養の時間の一部が異なりますが、スクールフェスティバル・スポーツフェスティバル・海外ワークキャンプなどの学校行事や、生徒総会・委員会などの生徒会活動については一般プログラム生と同様に行います。

4. 部活動は一般プログラム生と異なりますか。

— CAS の活動のひとつとして位置付けられる場合がありますが、活動自体は一般プログラム生と一緒に活動し、内容もほぼ変わりません。

<履修について>

5. 高等学校卒業資格は得られますか。

— はい。本校の DP のカリキュラムは文部科学省の定める学習指導要領にも対応しているため、日本の高等学校卒業資格も与えられます。

6. 途中で DP から一般プログラムへ変更はできますか。

— 同意書を受理してからのプログラム変更は認めていません。

7. DP を選んだ場合、留学できますか。

— できません。DP の2年間において、途中でプログラムを離れることは認めていません。

8. 編入生です。前の学校で DP を行っており、その中で ISS と同じ科目・同じレベルを選択していたものがあります。前の時間数をカウントに入れることはできますか。

— できません。

9. 英語は得意ですが、日本語が苦手です。日本語で行う科目の課題を英語で行うことはできますか。

— できません。指定された言語で取り組むことが求められます。本校は日本語と英語で行うデュアルランゲージ・プログラムであり、日本語と英語の両方について高度な言語運用能力が必要です。

10. 数学・化学・美術については、S L (Standard Level) のみの開設となりますか。

— はい。現在のところ2ページにある科目・レベル・言語で開設します。

<編入学選抜検査について>

※出願の詳細については、募集要項を併せてご確認ください。

11. 5年4月編入学選抜検査を受けようとしています。DP と一般プログラムで迷っているのですが、合格後にプログラムを選択し直すことはできますか。

— できません。出願時に DP を選択し合格した方がのみが DP 生として認められます。合格後に一般プログラムへ変更することはできません。

12. 5年4月編入学選抜検査を受けようとしています。一般プログラムと DP で、選抜の基準は変わりますか。

— 出願時に選択するプログラムによらず、全く同じ検査で区別なく編入生の選抜を行います。ただし、DP を希望する場合、

外国語作文の言語は必ず英語で受検する必要があります。

13. DP を希望していますが、4年9月編入学選抜検査と5年4月編入学選抜検査のどちらで受検するか迷っています。違いは何ですか。

— 5年4月の場合は、編入学検査の結果により決定されます。一方、4年9月の場合は、在校生として選考されます。ちなみに、5年9月および6年4月編入学選抜検査における DP 生の受け入れは行っていません。

<進路について>

14. IB ディプロマ資格を取得すると、どのような進路に進めますか。

— DP の成績を利用した大学進学について：DP を利用して大学へ出願する場合、どの DP 科目をどのレベルで選択したかが重要になる場合があります。たとえば、大学から求められる条件として、「数学を HL (Higher Level) で選択し、7段階中6以上の成績を修めている」といった指定がある場合、本校の数学については SL となっているため、この条件を満たさないことになります。本校では、理科の科目が化学に限定されており、数学と化学がともに SL のみの開設となっているため、理系分野の学部・学科において、出願条件に当てはまらないことが考えられます。その点について十分ご留意ください。

※以下の項目については、文部科学省ウェブサイトを参照しています。現在の動向については、参照先をご確認ください。

(http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/ib/)

— 海外の場合：国ごとに具体的な取扱いは異なるものの、世界の多くの国々において、大学入学資格として幅広く受け入れられています。また、海外の大学入学者選抜にあたっては、DP の成績が広く活用されています。

— 国内の場合：出願要件などは、大学ごとに異なりますが、IB ディプロマ資格取得者等についても、多くの大学で AO 入試などの出願資格の一つとして募集要項に明記されており、所定の要件を満たす場合には、この制度により大学入試を受験することが可能です。近年、日本の大学において DP の成績などを活用した入学者選抜を積極的に導入または更に拡大する動きが広がっています。

<その他>

15. 費用について、一般プログラムとどのような違いがありますか。

— 一般プログラム生の費用とは別に、DP を受けるための費用として年間50万円程度をお納めいただきます。また、2年目には外部評価の筆記試験受験料として10万円程度がさらに加わります。

◇問い合わせ先◇

東京学芸大学附属国際中等教育学校
副校長 星野 あゆみ
東京都練馬区東大泉 5-22-1
TEL: 03-5905-1326